

「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」を をテーマにシンポジウム開催

立命館大学医療経営研究センター主催介護経営シンポジウム

2月22日、シルバーサービス振興会後援・立命館大学医療経営研究センター（肥塚浩センター長）主催による介護経営シンポジウムが大阪市内で開催されました。テーマは「介護プロフェッショナルキャリア段位制度創設の背景・意義・展望」について。当センターが内閣府より運営を受託している「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」とは、介護職の職業能力を7段階で評価するというものです。初年度（平成24年度）は東日本大震災の被災3県のみでの実施でしたが、今年度より全国主要都市でアセッサー講習会が開催され、本格的にスタートを切りました。3月10日現在、アセッサー（本制度にてレベル認定の評価をする人）は全国に約3,400人、レベル認定者は14人。順次、各事業所にて2,463人の内部評価が進められており、14年度末までには、2万人のレベル認定取得者誕生を目標としています。

CONTENTS

介護経営シンポジウム報告……………	1
介護キャリア段位制度事務局報告……………	2
平成25年度老人保健事業推進費等 補助金事業における調査研究……………	3
行政NEWS……………	4
各マークの新規・更新一覧……………	5
知るNAVIのご案内……………	6



サービスの質の評価に資する画期的制度



厚生労働省大臣官房
審議官 有岡宏氏



国立保健医療科学院
統括研究官 筒井孝子氏

シンポジウムは2つの基調講演とパネルディスカッションの2部構成で進められました。最初に登壇した厚生労働省大臣官房審議官の有岡宏氏は、同制度創設に至る背景を解説した後、「同制度が今後の介護人材確保に向けた取り組みの一助となることを大いに期待する」とコメントしました。

続いて講演を行った国立保健医療科学院統括研究官の筒井孝子氏は、同制度における評価項目とその基準を策定した運営委員会の中心メンバー。評価項目は、筒井氏のもつ介護現場における介護行為ごとの発生率と発生時間を計測した膨大なタイムスタディ調査のデータをもとに、148項目にまで絞られています。非常に明確かつ客観性のある評価基準であり、これにより介護サービスの内容が“見える化”され、その質をプロセスの視点で評価することが可能となりました。筒井氏は、同制度の意義と展望について、次のように語りました。

「本来、評価には、ストラクチャー（構造）・プロセス（過程）・アウトカム（成果）の3つの視点があります。介護の世界においては、人員配置や設備基準といったストラクチャー評価、在宅復帰率といったアウトカム評価は既にありますが、プロセス評価というものは、これまでありませんでした。理由は、基準となる“ものさし”が存在しなかったから。このキャリア段位制度は、そのものさしづくりに成功した画期的な評価基準です。この評価をもって、最終的に介護サービス全体の質の向上に資することができればと思っています」。

報酬評価を待たず、積極的な導入を



兵庫県立大学大学院
教授 小山秀夫氏



老健局振興課課長
朝川知昭氏

後半のパネルディスカッションは、厚生労働省老健局振興課課長の朝川知昭氏を迎え、司会の小山秀夫氏（兵庫県立大学大学院教授）をはじめ、同制度の創設・運営に関わる委員会のメンバーら（淑徳短期大学教授・亀山幸吉氏、国際医療福祉大大学院教授・高橋紘士氏、立命館大学医療経営研究センター客員研究員・光山誠氏）により行われました。

制度創設の検討ワーキンググループの委員を務めた亀山氏、運営委員会委員長を務める高橋氏が、共に「この制度が、介護という仕事の魅力や社会的意義を改めて世の中へアピールするきっかけとなればよい」との期待を語る一方で、運営委員の光山氏は、老健施設の経営者でもある立場から「取り組んだ方がいいが梯子を外されないか、という不安もある」と、現場の声を代弁。それを受け、朝川氏は「これからは、サービスの質に焦点を当てて評価することが重視されるようになる。その意味でも、中期的には本制度が介護報酬で評価される流れになるのではないか」との見解を述べました。

司会の小山氏は「報酬で評価されることを待っているようでは遅い」と厳しく指摘し、会場の関係者へ、同制度への速やかな着手を呼びかけ、ディスカッションを結びました。

●一般社団法人シルバーサービス振興会とは●

シルバーサービスの質の向上と、その健全な発展を民間の立場で支えるために活動している一般社団法人です。

〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番33号 NP御成門ビル 6階
TEL: 03-5402-4880 FAX: 03-5402-4884 <http://www.espa.or.jp/>

介護キャリア段位制度事務局報告

平成25年度外部評価審査員 114名を養成

当シルバーサービス振興会が内閣府の実施機関として運用を行っております介護キャリア段位制度におきましては、全国の各事業所・施設において評価者（アセッサー）が実施する介護技術の内部評価の適正性を確実に担保することを目的に、内部評価結果を外部評価機関により審査するスキームを構築しています。

その審査を担当する外部評価審査員を養成する目的で、平成25年度外部評価審査員講習を実施し、講習の締めくくりとなる集合講習を平成26年2月20日（木）、全国3都府県3会場（東京、大阪、仙台）にて開催しました。

メイン会場である東京（新宿）会場にて、講師が講義を行い、その映像を他会場に同時配信する形式とし合計329名の方が受講されました。

受講における確認テスト並びに講習前に実施したトライアル外部評価の結果を元に、厳正に審査を行い、平成25年度外部評価審査員として105名が新たに合格されました。

この結果、平成24年度に養成された9名と合わせて、外部評価審査員数は合計114名となりました。今後、外部評価審査員が所属する事業所・施設と調整を行い、外部評価実施に向けて運用実施してまいります。



◆ 平成25年度 外部評価審査員講習カリキュラム ◆

平成25年12月3日（火）～ 外部評価審査員講習テキストによる事前学習

平成25年12月16日（月）～平成26年1月19日（日） eラーニングによる受講

平成25年12月16日（月）～平成26年2月2日（日） トライアル外部評価

平成26年2月20日（木） 集合講習

平成26年度 介護キャリア段位制度の実施機関として決定

内閣府が実施する介護キャリア段位制度については、平成24年度より当シルバーサービス振興会が実施機関として認定され事業を実施してきていますが、平成26年2月に開催された選定評価委員会の審査の結果、平成26年度においても当シルバーサービス振興会が実施機関として認定されました。

この結果、平成26年度におきましても引き続きレベル認定申請を目指した内部評価の推進、評価者（アセッサー）並びに外部評価審査員の養成を行ってまいりますので、介護サービス事業所の皆さんの参加を宜しくお願い致します。

なお、平成26年度の事業実施スケジュール等については、近々キャリア段位制度専用ホームページ (<https://careprofessional.org/>) 上において公表することとしております。

平成25年度老人保健事業推進費等 補助金事業における調査研究

シルバーサービス振興会では平成25年度に厚生労働省の老人保健事業推進費等補助金事業において3つの調査研究を行いました。

■ 住宅改修事業者の市区町村における状況把握、管理状況に関する調査研究事業

介護保険における住宅改修は、高齢者の身体状況や生活環境を考慮して改修プランを立てるスキルや介護保険制度についての知識等、高い専門性が求められており、事業者の質の担保が必要という背景に基づき、全国の市区町村における介護保険を利用した住宅改修の実態把握を行い、基礎的なデータを収集したうえで、住宅改修の現状の課題分析と今後のあり方について検討を行うことを目的に調査研究を実施しました。

■ 家族介護者の負担を軽減するための支援方策に関する調査研究事業

我が国における介護は、圧倒的に家族介護に依るところが大きいのが現状であり、老老介護、男性介護、認認介護、親子介護などの問題が生じている中、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう地域包括ケアシステムの構築が急がれており、これまでに実施された各種調査研究の成果を検索・収集し、体系的に整理することで、現在の到達状況を把握し、今後の家族介護者の負担を軽減するための支援方策検討に役立てることを目的に調査研究を実施しました。

■ 介護職員の資質向上（キャリアパス）におけるスキルの評価等の有効性に関する調査研究事業

高齢化の進展により、介護人材の確保は喫緊の課題である中、「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」による評価基準に照らした人材の育成、労働移動を促す仕組みを構築しており、その中で収集された詳細なデータの解析、また、事業所管理者に対して介護技術評価の取り組み状況等の実態・意向調査アンケートにより、スキル評価のレベル向上のための支援策等について検討する等、今後のこの制度の円滑な運営をはかるための資料を収集することを目的に調査研究を実施しました。

◆介護職員の処遇改善が「着実に進んでいる」と総括

社会保障審議会会議給付費分科会（田中滋分科会長）は3月27日、厚生労働省が示した平成25年度介護従事者処遇状況等調査の結果を了承した。25年に介護職員処遇改善加算の届出をした事業所における介護職員の月給・常勤で平均給与額や基本給が前年よりも増加したことなどが明らかになった。分科会は「給与等の引き上げなどを始めとした処遇改善が着実に進んでいることが確認された」と総括した。

調査は、平成25年10月1日を調査日として、介護保険3施設や訪問介護・通所介護・認知症グループホーム・居宅介護支援事業所など7サービスの9,119施設・事業所を対象に実施した（有効回答率82.2%）。集計介護従事者数は4万8,116人。



◆医療介護総合確保推進法案の国会審議がスタート

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律案」（医療介護総合確保推進法案）の審議が4月1日から衆議院本会議にて開始された。

医療・介護などを一括したもので、介護保険法改正では、予防給付の訪問介護や通所介護を地域支援事業に移行する予防給付の見直しなどが盛り込まれている。介護保険法改正の施行は一部を除き平成27年4月。

田村憲久厚生労働大臣は、高齢化の進展により慢性疾患の患者等の増加が見込まれることから、急性期の医療から在宅医療、介護までの一連のサービスを地域で確保し患者の早期の社会復帰を進めるとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活できるようにしていく必要性を指摘。「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律に基づく措置として、効率的かつ質の高い医療提供体制や、地域包括ケアシステムの構築を通じ、地域における医療・介護の総合的な確保を推進する」と法案の趣旨を説明した。

◆地域包括ケア推進に関する決議がまとまる

シルバーサービス振興会などの医療・介護の関係団体など約70団体が参加する「地域包括ケア推進全国会議」は3月27日、「地域包括ケア推進に関する決議」をまとめた。決議では、今国会に医療介護総合確保推進法案が提出されており、「地域包括ケアシステムの構築に向けて、早期に取り組みを推進する必要がある」と指摘。構築に向け関係者が協力して取り組むことを確認するとともに、「介護人材の処遇改善、勤務環境の改善を含め、地域包括ケアを担う人材を確保するための取り組みを進める」「介護保険制度を持続可能なものとしていく」などとしている。

◆消費税率引き上げに伴う介護報酬改定が施行される

4月からの消費税率の5%から8%への引き上げに対応した介護報酬改定が4月1日、施行された。税率引き上げに機械的に対応したもので、各サービスの課税割合に応じ、基本単位数への上乗せを基本とし、消費税負担が相当程度見込まれる加算についても上乗せを実施。全体の改定率は0.63%。上乗せにより従前と同量のサービスを利用しているにも関わらず、区分支給限度基準額を超えることが生じうるため、制度発足後初めてとなる基準額の引き上げも行われた。

シルバーマーク・消毒マーク 新規・更新一覧 (2月認定)

シルバーマーク制度 — 良質な事業者を認定するサービス評価制度

シルバーマーク制度は平成元年に創設された福祉サービス分野で最も歴史と実績のあるサービス評価制度です。

本格的な高齢社会を迎え、高齢者が安心して健康に暮らすことができる良質なサービスや商品を提供する事業者が求められています。シルバーマークとはそうした社会の要請に応え、本社・本部等へのマネジメント基準とシルバーサービスの種類ごとにサービス基準を設け、基準を満たした事業所に対して交付されるものです。利用者が事業者を選択するうえでの確かな目安となっています。

★表示様式のイメージ



■更新

訪問介護

- さくらメディカル(株)
高田訪問介護事業所……………(新潟県)

訪問入浴介護

- セントケア東北(株)
セントケア仙台……………(宮城県)
- セントケア千葉(株)
セントケア四街道……………(千葉県)
- セントケア東京(株)
セントケア赤羽……………(東京都)
- セントケア神奈川(株)
セントケア神奈川……………(神奈川県)
- セントケア西日本(株)
セントケア尼崎……………(兵庫県)
- (株)大起エンゼルヘルプ

- 本社……………(東京都)
- 越谷ケアセンター……………(埼玉県)
- 練馬ケアセンター……………(東京都)
- (株)ケアサービス
訪問入浴 蒲田……………(東京都)

福祉用具貸与

- 東洋シルバーサービス(株)……………(青森県)
- 日科ミクロン(株)
福祉のニッカ 三郷営業所……………(埼玉県)
- (有)アドラップ……………(千葉県)
- (株)ライコム・コーポレーション
本社……………(東京都)
- (株)ヘルスケア
ヘルスケアさがみ……………(神奈川県)
- ヘルスケア上武……………(埼玉県)
- ヘルスケア西武……………(埼玉県)

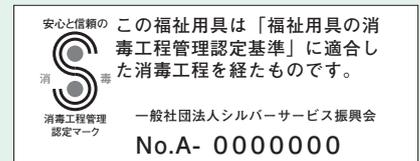
- ヘルスケア湘南……………(神奈川県)
- さくらメディカル(株)
新潟支店……………(新潟県)
- 近藤産興(株)
近藤産興(株)ケアレンタル課……………(愛知県)
- ハヤシリハビリ(株)……………(愛知県)
- (有)ハヤシ……………(奈良県)

福祉用具の消毒工程管理認定制度

介護保険制度における福祉用具の利用は、原則、貸与(レンタル)という形態がとられています。福祉用具は基本的に再利用されるので、使用後に回収され、点検・消毒・保守点検を経て新しい利用者のもとに届けられます。

しかし介護保険制度には消毒に関する具体的な基準がなく、また消毒の効果を利用者が確認することも非常に困難なため、平成16年に「福祉用具の消毒工程管理認定制度」が創設されました。

★用具に貼られている認定シールのイメージ



■新規

- (株)サンネットワークマエダ
サンネットワーク名古屋……………(愛知県)
サンネットワーク上田……………(長野県)

■更新

- 興国運輸(株)
A T I センター……………(東京都)
- 小山(株)
本社工場……………(奈良県)
介護関連事業部……………(奈良県)
- さくらメディカル(株)
新潟支店……………(新潟県)
- (有)ダイユウ
鹿児島営業所……………(鹿児島県)
- (株)トーカイ
さいたまメンテナンスセンター……………(埼玉県)
長野支店……………(長野県)
千葉メンテナンスセンター……………(千葉県)
羽島メンテナンスセンター……………(岐阜県)
大阪北メンテナンスセンター……………(大阪府)
- 豊通物流(株)
豊通通商 小牧レンタルセンター……………(愛知県)

- 日建リース工業(株)
東京介護センター……………(東京都)
金沢流通センター……………(石川県)
長野流通センター……………(長野県)
名古屋介護センター……………(愛知県)
大阪介護センター……………(大阪府)
佐賀介護センター……………(佐賀県)
熊本介護センター……………(熊本県)
- (株)日本ケアサプライ
沼津営業所……………(静岡県)
青森営業所……………(青森県)
岩手営業所……………(岩手県)
仙台営業所……………(宮城県)
秋田営業所……………(秋田県)
山形営業所……………(山形県)
郡山営業所……………(福島県)
埼玉営業所……………(埼玉県)
柏営業所……………(千葉県)
茂原営業所……………(千葉県)
立川営業所……………(東京都)
神奈川営業所……………(神奈川県)
山梨営業所……………(山梨県)
松本営業所……………(長野県)

- 長野営業所……………(長野県)
- 静岡営業所……………(静岡県)
- 京都営業所……………(京都府)
- 堺営業所……………(大阪府)
- 大阪営業所……………(大阪府)
- 和歌山営業所……………(和歌山県)
- フランスベッドメディカルサービス(株)
東京センター……………(東京都)
- フランスベッド(株)
盛岡サービスセンター……………(岩手県)
長野サービスセンター……………(長野県)
名古屋サービスセンター……………(愛知県)
千歳物流サービスセンター……………(北海道)
- (株)ヤマシタコーポレーション
東京東衛生管理センター……………(東京都)
- (株)ライコム・コーポレーション
福祉用具消毒センター……………(東京都)
- (株)レンティ
レンティケアサービス 福祉用具消毒工場
……………(千葉県)

● 全国の認定事業所リストについてはシルバーサービス振興会HPをご覧ください。

シルバーサービス振興会 検索

ポータルサイト「知るNAVI」 出展のご案内

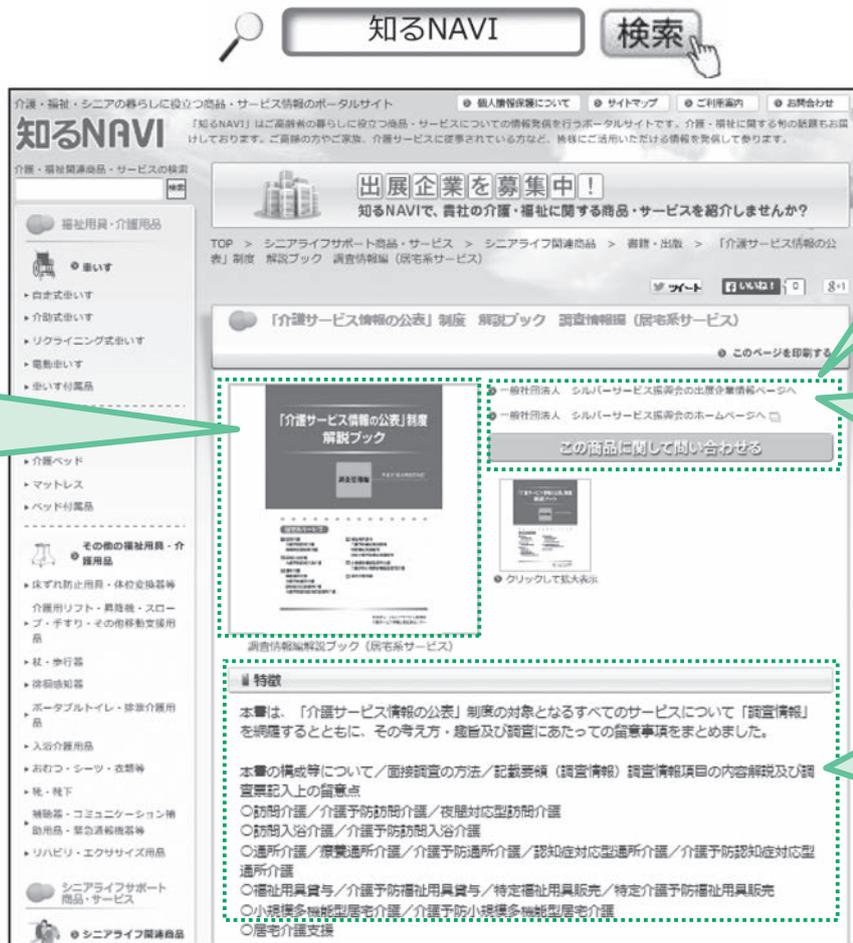
「知るNAVI」とは？

シルバーサービスに関する事業を行っている企業・団体様にて、自社の商品・サービスをインターネット上で出展していただき、情報を発信していただく情報ポータルサイトとなります。

また、その出展された商品・サービスを、シルバーサービスをご利用されます方々が検索する情報サイトとなります。

「知るNAVI」 4つの特徴

- ① シルバーサービスをご利用されます方々はもとより、**ケアマネジャー様、サービス事業所様等も検索にご利用**いただいております。
- ② 「知るNAVI」を閲覧いただいている方を**出展企業様のホームページへ誘導**することも可能です。
- ③ 出展企業様毎の**専用管理ページ**を用意しています。24時間いつでも無料で自由に**出展内容の更新**が可能です。
- ④ 会員価格をご用意。**低コスト**で自社商品に関する**情報発信**が出来ます。



<http://www.sil-navi.com/>

「知るNAVI」出展に関するお問い合わせは
一般社団法人 シルバーサービス振興会 広報研修部 まで